

2018年度 (平成31年2月期)
第3四半期決算説明資料

2019年1月10日

株式会社 乃村工藝社

- 1. 2018年度 第3四半期 決算概要**
- 2. 2018年度 第3四半期決算 補足資料**

1. 2018年度 第3四半期 決算概要

2018年度 第3四半期 連結業績ハイライト

➤ 売上高の増加、売上総利益率の改善により、前年同期に比べ11.6%の営業増益

(百万円)	2017年度		2018年度		
	3Q	対売上高 構成比	3Q	対売上高 構成比	前年同期比
売上高	77,903	100.0%	80,998	100.0%	+3,095 (+4.0%)
売上総利益	15,574	20.0%	17,209	21.2%	+1,635 (+10.5%)
営業利益	5,230	6.7%	5,838	7.2%	+607 (+11.6%)
経常利益	5,401	6.9%	5,989	7.4%	+587 (+10.9%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,674	4.7%	4,460	5.5%	+786 (+21.4%)

売上高

①売上高 増加要因

	2017年度3Q	2018年度3Q	前年同期比
売上高	77,903百万円	80,998百万円	+3,095百万円 (+4.0%)

- 多数のオフィス案件を手掛けたその他市場が大幅に増加、博物館・美術館市場、余暇施設市場も堅調に推移し増収

②通期 売上高予想

	2017年度 通期	2018年度 通期(予想)	前期比
売上高	115,841百万円	120,000百万円	+4,158百万円 (+3.6%)

- 期初の想定通り、第4四半期に案件の集中を予測している、売上予想の達成確度は高い
- 第4四半期完工案件および来期以降の受注が積み上がっており受注高、受注残高が伸長

受注高・受注残高比較

	2017年度3Q	2018年度3Q	前年同期比
受注高	84,208百万円	115,624百万円	+31,416百万円 (+37.3%)
受注残高	43,644百万円	71,490百万円	+27,845百万円 (+63.8%)

売上高

③市場分野別の状況

- 主要都市の複合施設、駅ビル等の環境演出を手掛けた複合商業施設市場は、利益率が向上したものの、大型施設の出店が一段落したことにより減収
- 歴史博物館、自然史博物館などを手掛けた博物館・美術館市場、ホテルの新装改装、テーマパークの装飾、環境演出を多数手掛けた余暇施設市場、オフィスの需要が引き続き旺盛なその他市場が伸長

	2017年度 3Q 売上高		売上 総利益率	2018年度 3Q売上高		売上 総利益率
	金額(百万円)	前年同期比		金額(百万円)	前年同期比	
専門店市場	27,985	△4.2%	17.5%	27,727	△0.9%	↑19.5%
百貨店・量販店市場	3,902	+5.8%	25.4%	4,329	+10.9%	↓24.8%
複合商業施設市場	10,293	+27.3%	19.8%	8,875	△13.8%	↑24.0%
広報・販売促進市場	13,165	+4.4%	22.6%	13,167	+0.0%	↑25.2%
博物館・美術館市場	5,480	△7.1%	18.1%	6,410	+17.0%	↑20.0%
余暇施設市場	5,403	△24.4%	21.9%	6,308	+16.7%	↓18.7%
博覧会・イベント市場	338	△71.1%	14.4%	460	+36.2%	↑18.8%
その他市場	9,180	△25.0%	22.5%	11,988	+30.6%	↓20.3%
ディスプレイ事業 小計	75,748	△5.4%	20.1%	79,266	+4.6%	↑21.3%
飲食・物販事業	2,154	+12.6%	17.4%	1,731	△19.6%	→17.4%
合 計	77,903	△5.0%	20.0%	80,998	+4.0%	↑21.2%

売上総利益

①売上総利益 増加要因

	2017年度3Q	2018年度3Q	前年同期比
売上総利益 (売上総利益率)	15,574百万円 20.0%	17,209百万円 21.2%	+1,635百万円 (+10.5%) 1.2ポイントUP

- 売上高の増加、並びに、大型案件の受注管理・プロセス管理の徹底、グループ会社事業の利益率の改善により、売上総利益率が1.2ポイント良化したことにより増加

②通期 売上総利益・総利益率予想

	2017年度	2018年度(予想)	前期比
売上総利益 (売上総利益率)	23,129百万円 20.0%	24,000百万円 20.0%	+870百万円 (+3.8%) -

- 期末に向けて案件が集中していることから、通期の総利益率20.0%（予想）は変更していない
- 引き続き、生産体制整備等の施策に加え、働き方改革、購買情報の集約等の生産性向上策を実施することで、高い総利益率を目指す

販売管理費

①販売管理費 増加要因

	2017年度3Q	2018年度3Q	前年同期比
人件費	6,754百万円	<u>7,196百万円</u>	+442百万円 (+6.6%)
経費	3,589百万円	<u>4,174百万円</u>	+585百万円 (+16.3%)
販売管理費	10,343百万円	<u>11,371百万円</u>	+1,027万円 (+9.9%)

➤ 人員増により人件費が増加、また、職場環境整備による移転費用・賃料増により経費が増加

②通期 販売管理費予想

	2017年度	2018年度(予想)	前期比
販売管理費	14,957百万円	<u>15,700百万円</u>	+742百万円 (+5.0%)

➤ 人員増による人件費の増加、売上増による経費の増加を見込む

営業利益

① 営業利益 増加要因

	2017年度3Q	2018年度3Q	前年同期比
営業利益	5,230百万円	5,838百万円	+607百万円 (+11.6%)

➤ 販売管理費の増加があったものの、売上高の増加、総利益率の改善により前年同期に比べ増加

② 通期 営業利益予想

	2017年度 通期	2018年度 通期(予想)	前期比
営業利益	8,171百万円	8,300百万円	+128百万円 (+1.6%)

➤ 受注が積みあがっているなか、大型案件の着実なプロジェクト推進、利益管理の徹底により営業利益予想の達成を見込む

営業外損益・経常利益

	2017年度3Q	2018年度3Q	前年同期比
営業外収益	184百万円	<u>152百万円</u>	△31百万円
営業外費用	13百万円	<u>1百万円</u>	△12百万円
経常利益	5,401百万円	<u>5,989百万円</u>	+587百万円 (+10.9%)

- 営業外収益は、受取配当金等が増加したものの、前年同期に保険金等の受取があったことにより減少
- 営業外費用は、前年同期に為替差損の計上があったため減少

特別損益・法人税等・四半期純利益

① 特別損益

	2017年度3Q	2018年度3Q	前年同期比
特別利益	15百万円	<u>644百万円</u>	+628百万円
特別損失	477百万円	<u>75百万円</u>	△402百万円

- 特別利益は、固定資産の売却益により増加
- 特別損失は、前年同期にグループ会社の事業構造改善費用の計上があったため減少

② 法人税等・四半期純利益

	2017年度3Q	2018年度3Q	前年同期比
法人税等	1,256百万円	<u>2,089百万円</u>	+833百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,674百万円	<u>4,460百万円</u>	+786百万円 (+21.4%)

- 前年同期はグループ会社の株式譲渡決定による税金費用の戻入れ等があったため法人税等が減少したが、当期は通常の水準となっている
- 営業利益、特別利益の増加、特別損失の減少により四半期純利益が増加

2018年度 連結業績予想

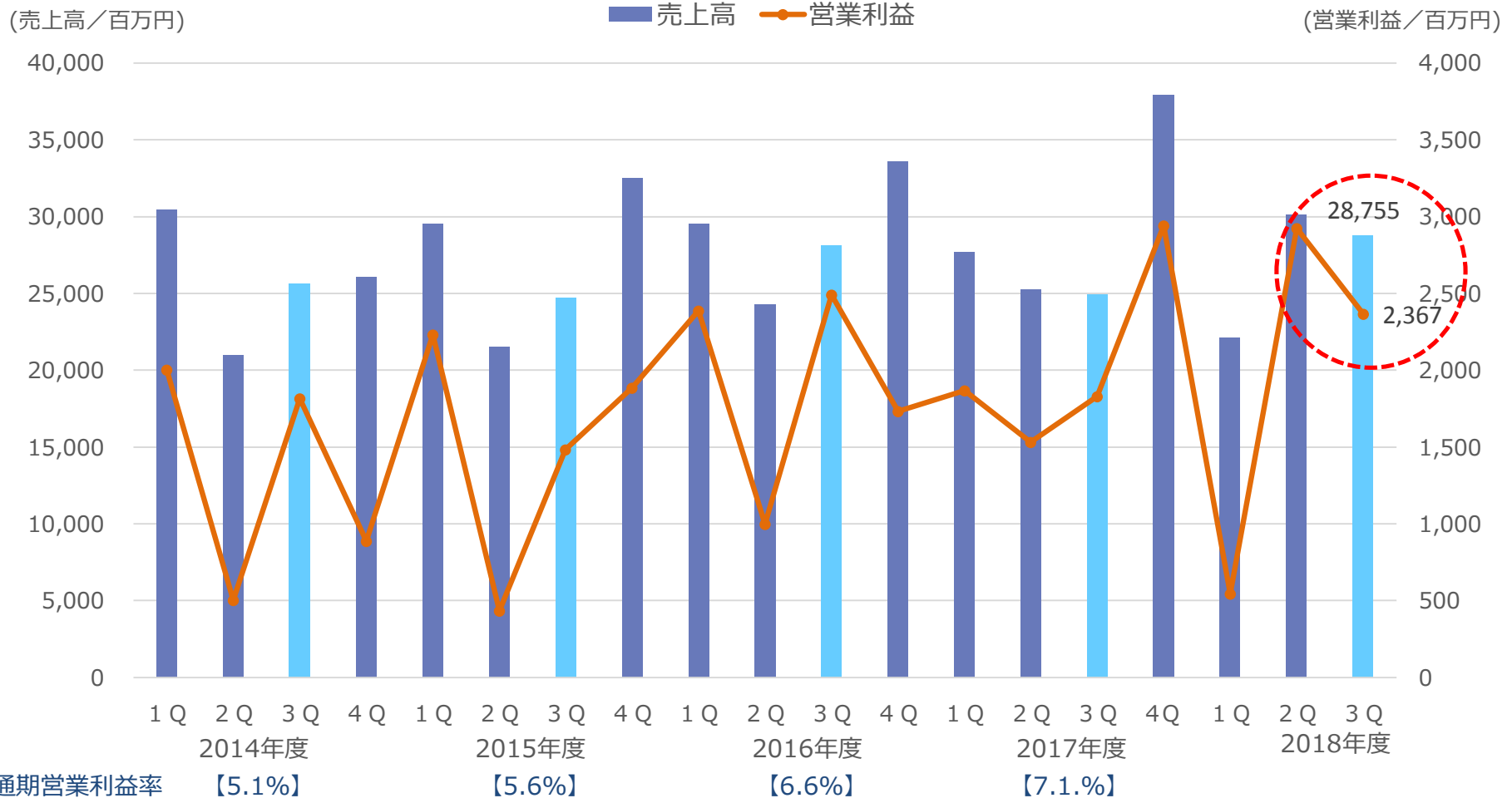
- 2018年度は前期同様に、下期型の業績推移となっているため、期末に向けて集中するプロジェクト管理、利益管理を徹底し、通期業績の達成を目指す
- 7期連続の増配予想、引き続き高い株主還元を実現する

(百万円)	2017年度			2018年度(予想)		
	通期	構成比	前期比	通期	構成比	前期比
売上高	115,841	100.0%	+0.2%	120,000	100.0%	+3.6%
売上総利益	23,129	20.0%	+1.8%	24,000	20.0%	+3.8%
販売管理費	14,957	12.9%	△1.0%	15,700	13.1%	+5.0%
営業利益	8,171	7.1%	+7.4%	8,300	6.9%	+1.6%
経常利益	8,373	7.2%	+7.2%	8,500	7.1%	+1.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,638	4.9%	+11.5%	5,900	4.9%	+4.6%
1株当たり当期純利益		101.36円			106.05円	
1株当たり配当金		45.00円			47.00円	
ROE (自己資本当期純利益率)		15.1%			15.0%以上	

2. 2018年度 第3四半期決算 補足資料

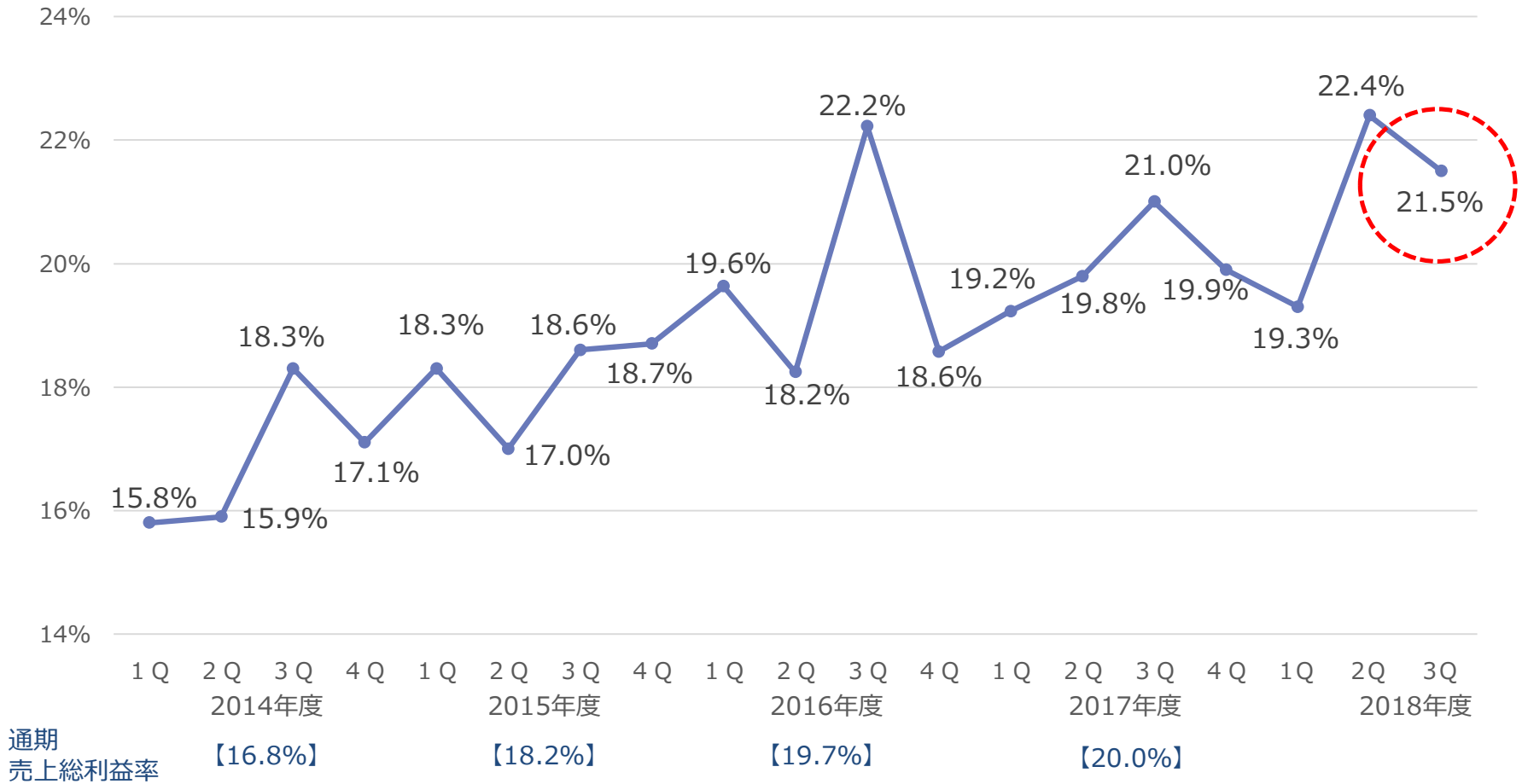
売上高・営業利益の四半期推移

- 第3四半期の売上高は、アパレル・ブランド、通信サービス等の店舗展開を多数手掛けた専門店市場、主要都市の複合施設の新装・改装を手掛けた複合商業施設市場の増加等により、前年同期に比べ伸長
- 第3四半期の営業利益は、売上高の増加、売上総利益率の改善により、前年同期に比べ大幅に増加



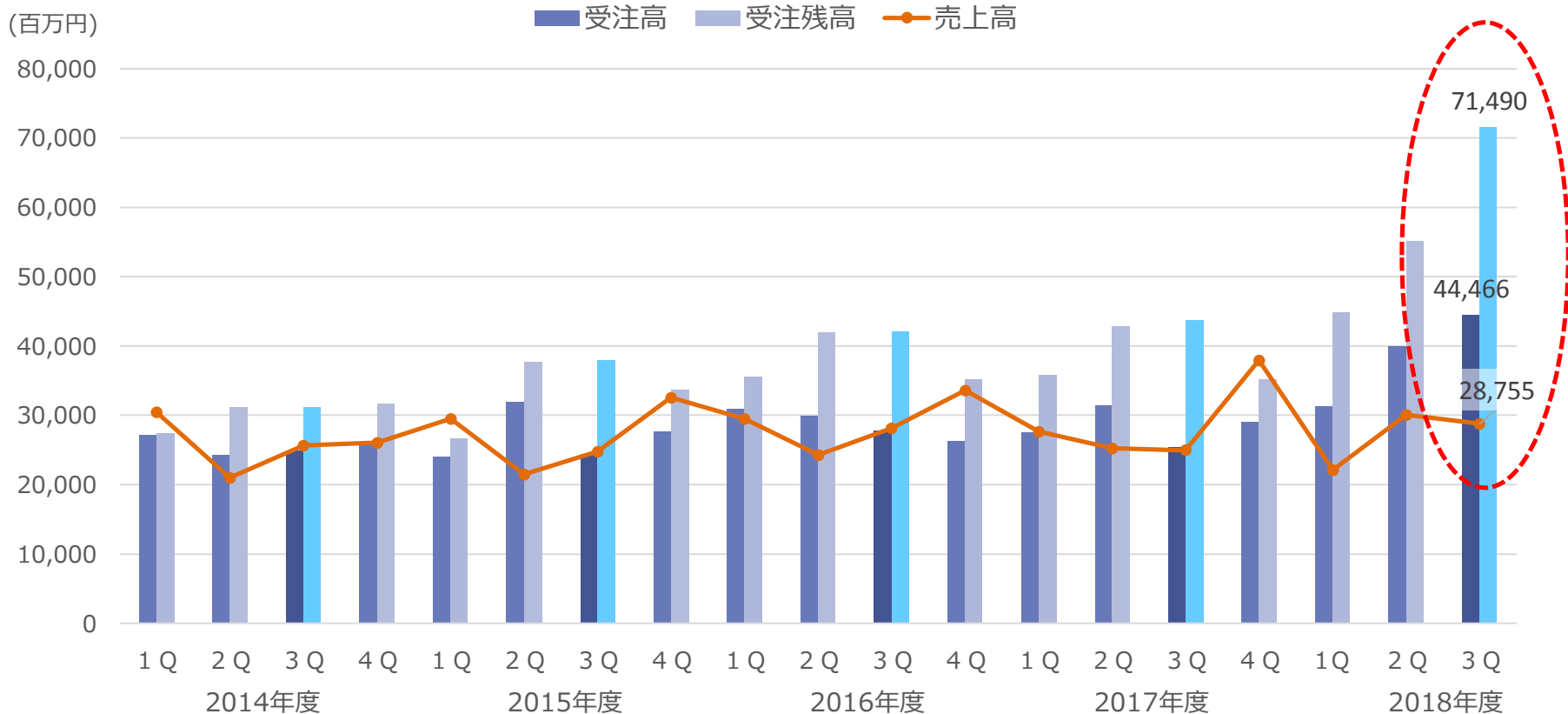
売上総利益率の四半期推移

- ▶ 第3四半期の総利益率は、大型案件の利益管理の徹底、グループ会社事業の利益率の改善により、前年同期に比べ0.5ポイント良化



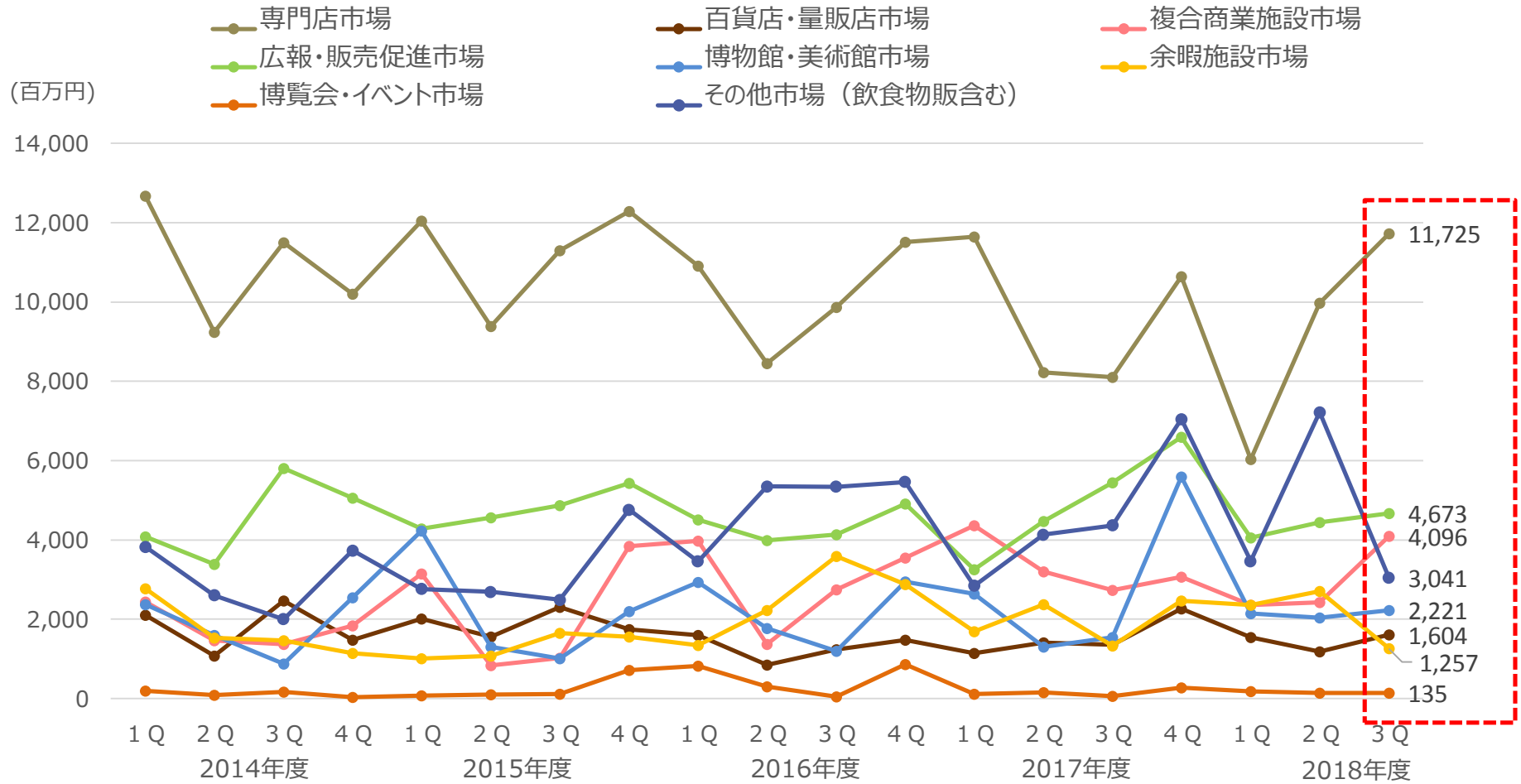
受注高・受注残高の四半期推移

- 第3四半期の受注高は、海外ブランド、通信サービス店舗等を多数受注した専門店市場、ホテル、テーマパークの新装・改装を受注した余暇施設市場、オフィスの大型案件を受注したその他市場が増加し、前年同期に比べ伸長
- 受注残高は、第4四半期の完工案件に加え、専門店市場、複合商業施設市場、余暇施設市場、その他市場の受注が積み上がっていることから前年同期に比べ63.8%増加



(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません

市場分野別 売上高の四半期推移



(注) 飲食・物販事業はその他市場に含み、掲載しています

市場分野別 売上高・売上総利益率

第3四半期	2017年度			2018年度			ポイント
	売上高		売上 総利益率	売上高		売上 総利益率	
	金額 (百万円)	前年 同期比		金額 (百万円)	前年 同期比		
専門店市場	27,985	△4.2%	17.5%	27,727	△0.9%	↑19.5%	アパレルやスポーツブランド、通信サービスの店舗展開を多数手掛けたものの、前年同期にあった大型案件の影響により減収
百貨店・量販店市場	3,902	+5.8%	25.4%	4,329	+10.9%	↓24.8%	大手百貨店の改装、装飾を手掛け増収
複合商業施設市場	10,293	+27.3%	19.8%	8,875	△13.8%	↑24.0%	大都市圏の主要駅に隣接する駅ビル、複合施設を手掛けたが、大型施設の出店が一段落し減収
広報・販売促進市場	13,165	+4.4%	22.6%	13,167	+0.0%	↑25.2%	電機、飲料、住宅設備メーカーなどの展示会・ショールームや企業PR施設を手掛け、前年同期と同等の売上を計上
博物館・美術館市場	5,480	△7.1%	18.1%	6,410	+17.0%	↑20.0%	歴史博物館、自然史博物館等を手掛け増収
余暇施設市場	5,403	△24.4%	21.9%	6,308	+16.7%	↓18.7%	国内観光地のホテル改装需要、テーマパーク等の展示改修を多数手掛け増収
博覧会・イベント市場	338	△71.1%	14.4%	460	+36.2%	↑18.8%	公共イベントの展示等を手掛け増収
その他市場	9,180	△25.0%	22.5%	11,988	+30.6%	↓20.3%	多くのオフィス案件、保育園、空港関連施設を手掛け大幅な増収
ディスプレイ事業 小計	75,748	△5.4%	20.1%	79,266	+4.6%	↑21.3%	
飲食・物販事業	2,154	+12.6%	17.4%	1,731	△19.6%	→17.4%	運営店舗の閉店、大型イベントの減少により減収
合 計	77,903	△5.0%	20.0%	80,998	+4.0%	↑21.2%	

市場分野別 受注高・受注残高

第3四半期	2017年度		2018年度		受注高 前年同期比	受注残高 前年同期比
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)		
専門店市場	27,009	8,745	33,712	11,815	+24.8%	+35.1%
百貨店・量販店市場	4,982	2,014	3,709	917	△25.5%	△54.5%
複合商業施設市場	8,044	4,203	14,115	8,722	+75.5%	+107.5%
広報・販売促進市場	17,265	7,004	13,987	5,554	△19.0%	△20.7%
博物館・美術館市場	9,135	9,383	7,917	8,681	△13.3%	△7.5%
余暇施設市場	7,361	5,083	13,046	13,554	+77.2%	+166.6%
博覧会・イベント市場	427	326	696	325	+62.9%	△0.4%
その他市場	9,982	6,882	28,438	21,918	+184.9%	+218.5%
合 計	84,208	43,644	115,624	71,490	+37.3%	+63.8%

(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません

連結損益計算書

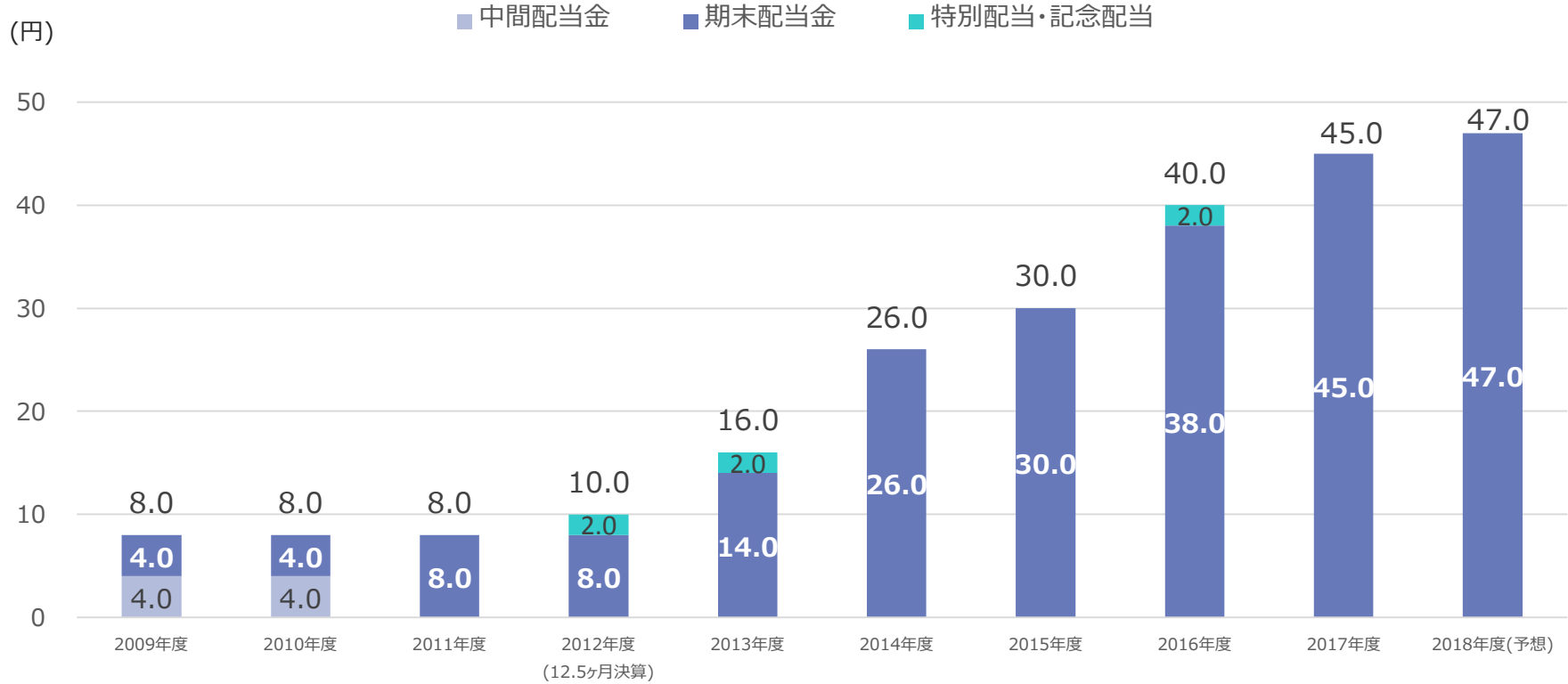
第3四半期	2017年度		2018年度				ポイント
	金額 (百万円)	対売上高 構成比	金額 (百万円)	対売上高 構成比	前年同期比		
売上高	77,903	100.0%	80,998	100.0%	+3,095	+4.0%	前年同期に比べ複合商業施設市場が減少したものの、多数のオフィス案件を手掛けたその他市場が大幅に増加、博物館・美術館市場、余暇施設市場も堅調に推移し増収
売上総利益	15,574	20.0%	17,209	21.2%	+1,635	+10.5%	売上高の増加、大型案件の利益管理の徹底、グループ会社事業の利益率の改善により総利益率が良化
販売管理費	10,343	13.3%	11,371	14.0%	+1,027	+9.9%	人員増加による人件費の増加、並びにグループ会社の本社集約、職場環境整備にともなうオフィスの拡張費用などにより増加
営業利益	5,230	6.7%	5,838	7.2%	+607	+11.6%	販管費の増加があったものの、売上高の増加、総利益率の改善により増益
経常利益	5,401	6.9%	5,989	7.4%	+587	+10.9%	営業利益の増加によるもの
特別利益	15	0.0%	644	0.8%	+628	+3,982.4%	固定資産の売却益により増加
特別損失	477	0.6%	75	0.1%	△402	△84.2%	前年同期はグループ会社の事業構造改善費用を計上
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,674	4.7%	4,460	5.5%	+786	+21.4%	営業利益、特別利益の増加、特別損失の減少により増益

連結貸借対照表

		2017年度末		2018年度 第3四半期末				ポイント
		金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	前期末比		
資 産	流動資産	60,635	79.3%	70,546	83.3%	+9,911	+16.3%	前期完成工事の入金により売掛金が減少したが、現金及び預金、たな卸資産の増加により、99億11百万円増加
	固定資産	15,808	20.7%	14,136	16.7%	△1,672	△10.6%	東京、大阪の事業所売却などにより、16億72百万円減少
	資産合計	76,443	100.0%	84,682	100.0%	+8,238	+10.8%	
負 債 純 資 産	流動負債	31,192	40.8%	37,533	44.3%	+6,340	+20.3%	仕掛案件の前受金の増加などにより、63億40百万円増加
	固定負債	5,907	7.7%	5,876	7.0%	△31	△0.5%	退職給付に係る負債の減少などにより、31百万円減少
	負債合計	37,099	48.5%	43,409	51.3%	+6,309	+17.0%	
	純資産	39,344	51.5%	41,273	48.7%	+1,929	+4.9%	配当金の支払いがあったものの、四半期純利益の計上などにより、19億29百万円増加
	負債純資産合計	76,443	100.0%	84,682	100.0%	+8,238	+10.8%	

株式関連資料

株主還元策と配当金の推移



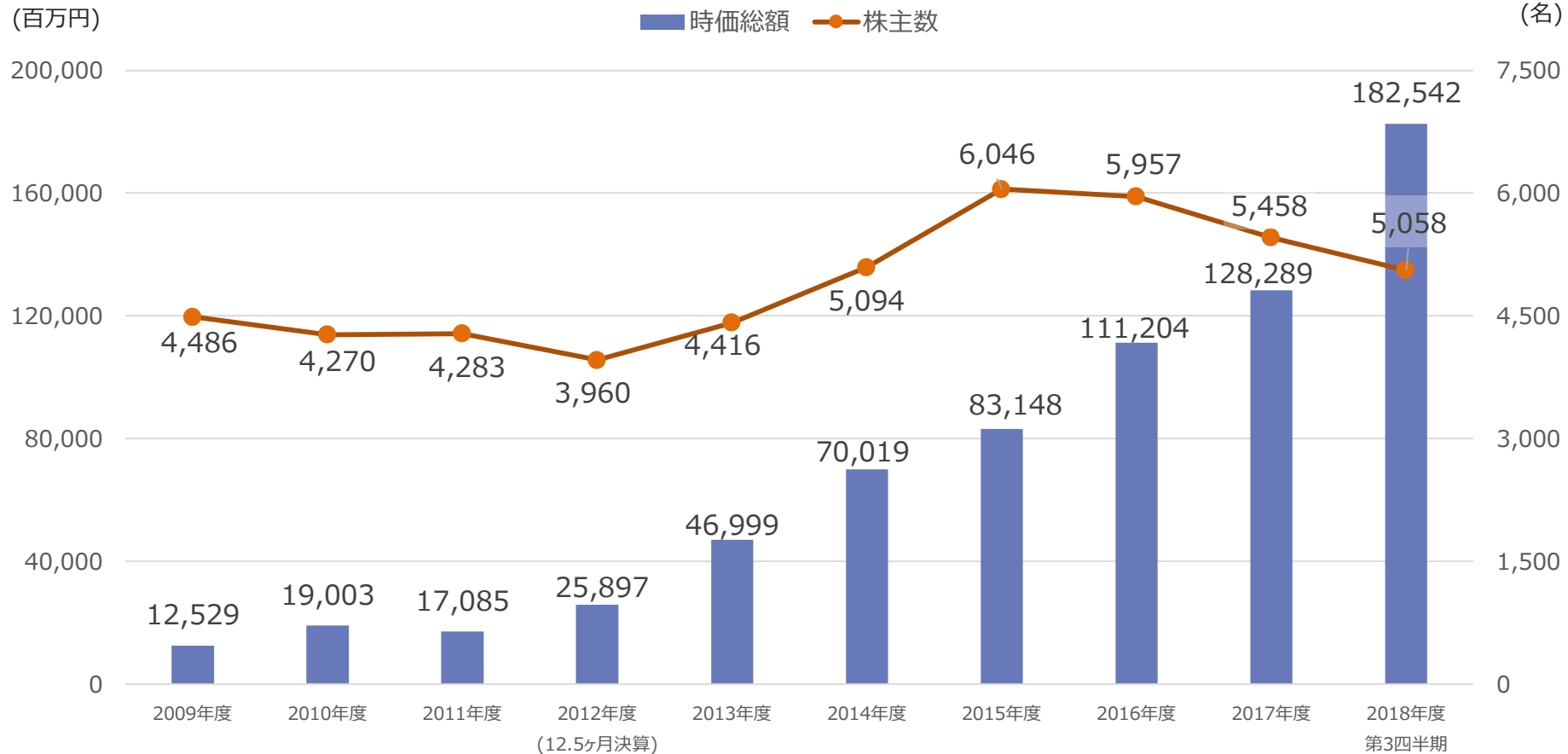
自己株式取得
65万株

自己株式取得
20万株

配当性向	111.0%	111.6%	73.9%	44.9%	48.4%	45.3%	43.4%	44.0%	44.4%	44.3%
株価最高値	300円	368円	348円	442円	1,052円	1,216円	1,932円	1,990円	2,648円	3,100円
株価最安値	190円	202円	201円	228円	426円	665円	1,102円	1,327円	1,803円	2,035円

(注) 2018年度の株価最高値・最安値は2018年11月末までの数値をもとに掲載

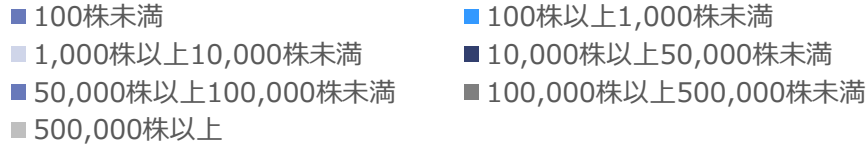
時価総額と株主数の推移



※2018年度の株主数は、第2四半期末現在

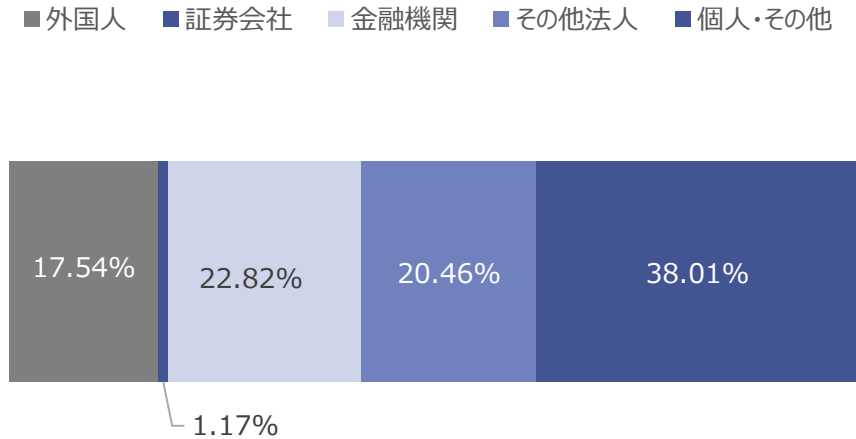
株主構成 (2018年8月31日現在)

■ 所有株数別株式の分布状況



100株未満	539名	3,367株
100株以上1,000株未満	2,579名	649,571株
1,000株以上10,000株未満	1,531名	3,949,476株
10,000株以上50,000株未満	298名	5,988,167株
50,000株以上100,000株未満	38名	2,550,434株
100,000株以上500,000株未満	48名	10,461,245株
500,000株以上	25名	36,346,034株
	5,058名	59,948,294株

■ 所有者別株式の分布状況



外国人	175名	10,516,277株
証券会社	23名	703,857株
金融機関	33名	13,680,140株
その他法人	141名	12,263,776株
個人・その他	4,686名	22,784,244株
	5,058名	59,948,294株

(注) 上記の分布状況はいずれも自己株式数を含んでいます。

株式会社 乃村工藝社

(証券コード：9716)

<https://www.nomurakougei.co.jp/>

IR・株式に関するお問い合わせ

総務部

(ir@nomura-g.jp)